

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art
News 展覧会・イベントスケジュール

No.107

2025

1 January ▶ 3 March



フェリックス・ティオリエ 《積みわらのそばの羊の群れ、ブレスィヴェ》

ドキュメント アートキャンプ白州

記録映像で甦る夏

1988～2010

ARTCAMP HAKUSHU

2025. 2.15 土曜日
3.23 日曜日

1988年、「野外芸術祭」が未だ日本になかった時代、山梨県の白州町に音楽、演劇、舞踊、美術、建築、農業など、あらゆる表現に関わる人々が国内外から集い、稀有なお祭り「白州・夏・フェスティバル」が行われました。その後、生活と創造過程に重きをおいた「アートキャンプ白州」、「ダンス白州」とタイトルを変えながら、2010年まで続けました。その中心を担っていた田中泯は、農村地から都市を逆照射するかにように芸術の真髄を模索し発信しました。

本展ではその歴史を物語る記録映像や資料を展示し、「アートキャンプ白州（総称）」を山梨県で改めて紹介する機会とします。





福田亨(1994年生まれ)《吸水》2022年 木彫



《吸水》(部分)



稲崎栄利子(1972年生まれ)《Euphoria》2023年 陶磁器

超絶技巧、未来へ!

明治工芸とそのDNA

11月20日(水)～2025年2月2日(日)

多くの観衆を魅了した「超絶技巧!明治工芸の粋」展(2014、15年)と「驚異の超絶技巧!明治工芸から現代アートへ」展(2017～19年)。本展はその第3弾として企画され、明治工芸における超絶技巧のDNAを受け継いだ現代工芸と、超絶技巧が駆使された明治工芸を改めて紹介する展覧会です。現代と明治という隔たる2つの時代に制作された類まれなる作品を一堂に集めて展示し、時を超えた超絶技巧の世界に迫ります。

作家独自の技法により生み出された実物と見紛うばかりの作品たち。本展出品の作品の前では誰もがしばし立ち止まり、革新的な発想力とそれを実現する技術の素晴らしさに驚くだけでなく、どれだけの時間と労力がかかったのだらうと思ひながら、見入ってしまうに違いありません。作家に対する畏敬の念が自然と沸き起こってくるでしょう。本展では今注目の現代作家17名による木彫、漆工、金工、陶磁、ガラス、ペーパークラフト、刺繍などの作品と、明治工芸の逸品を合わせて約120点展示します。

関連イベント

◆アーティスト・トーク「誰にもできない」

木彫作品を制作する大竹亮峯氏が、その制作過程やアイデアについて語ります。

講師：大竹亮峯氏(木彫作家・本展出品作家)

日時／1月18日(土) 午後2:00～3:30

場所／講堂

※申込不要、聴講無料、定員100名程度(先着順)



前原冬樹(1962年生まれ)《「一刻」スレメに茶碗》(部分) 2022年 木彫

冬季	ミレー館	2024年11月26日(火)～2025年3月2日(日)
	テーマ展示室	2024年12月3日(火)～2025年3月2日(日)
	萩原英雄記念室	2024年11月26日(火)～2025年3月2日(日)

ミレー館 (コレクション展A)

オランダ出身で、ハーグの美術学校で学んだヨンキント(1819～1891)は、1854年にパリに移りました。オランダとフランスを行き来しながら各地の風景を描き、クールベやコロー、モネといったフランスの画家たちと親交を結びました。油彩画のほか、水彩画や版画も得意とし、晩年には大胆な筆遣いで光と影を捉えた作品を制作しました。川や運河の多いオランダの町ドルトレヒトを描いた本作は、雲間の月と、その光を反射してきらめく水面が印象的です。木々の間からは町の灯りが見え、夜の闇を照らすさまざまな光が巧みに描き出されています。



ヨハン・バルトールト・ヨンキント《ドルトレヒトの月明かり》1872年頃

テーマ展示室 (コレクション展B)

すっきりorぎっしり／光を表す

コレクションから、「すっきり」した印象を与える作品と、「ぎっしり」とした印象を与える作品をご紹介します。両者の違いは作品から受ける印象をもとにしていますが、こうした表面上の見え方の違いが、実は根源的な制作上の違いに結びついている部分もあり、作品の新たな魅力を見つける手がかりとなるでしょう。また、「見る」ということ、そして視覚芸術の根本を成す「光」はどう表現されているか、絵画、写真、版画などのコレクションを「光を表す」というテーマで展示します。

Pick up ART

フェリックス・ティオリエ《積みわらのそばの羊の群れ、プレシヴェ》

ゼラチン・シルバー・プリント 1880-1910年頃 28.4×38.4cm

19世紀に始まった写真は、科学者による技術の探求とともに発展したが、写真の芸術的な側面を重視した人々もいた。絵画の手法をもとにした写真は「ピクトリアリズム」と呼ばれ、ティオリエもそうした写真家の一人とされる。ティオリエは、コローやドービニー、トロワイオン、ラヴィエなどバルビゾンに集った画家たちと交流、その作品に触れており、彼の写真の源泉の一つとなっている。大きな積みわらのそばの羊たちは、木々を照らす光の方へと歩を進めているかのようであり、光と羊の体の白さは、手前の積みわらや地面の影と強いコントラストを生んでいる。当時の農村の風景が捉えられた写真でもあり、19世紀の写真が絵画と共通のテーマを有していたことを伝えて

みんなでつくる美術館2024



「やまなしをつくろう」Vol.2

—あなたの手で みんなの手で—

みんなでつくる美術館(みなび)は大人も子どもも、どなたでも参加できるワークショップや、参加者制作の作品による展覧会からなる事業です。昨年度に続き「やまなしをつくろう」をテーマに、山梨の「手仕事」に目を向け、ワークショップで作品制作を展開中です。「みなび展」では作品を集結させ、展示室に小さな山梨を出現させます。

みなび展 ワークショップの作品集結!

会期／2025年1月22日(水)～2月2日(日)

1月27日(月)は休館日 最終日は午後3:00まで
最終日午後3:00から作品を返却します。

場所／県民ギャラリーC、他

◎1月25日(土)

大工さんのワークショップ

南アルプス市若手大工の会によるワークショップを開催します。

※その他、会場内でミニワークショップも実施します。

つくろう!あそぼう!造形広場

つくることをとおして美術の豊かさを学びます。

講師／伊藤美輝氏(造形教育研究者)

日時／1月4日(土)、2月1日(土)、3月1日(土)
午後1:30～3:00

対象／幼児から大人まで 定員／当日先着50名

場所／ワークショップ室 ※参加無料、申込不要

※放課後等デイサービスなどの団体は事前電話で
ご相談ください。Tel:055-228-3322

※詳細は美術館ホームページをご覧ください。

新しい鑑賞ワークショップ

「アートでトーク」

案内役と一緒に展示作品を見て、対話をする鑑賞会です。
さまざまな作品の見方に会えます。

日時／①大人ののためのアートでトーク

2月11日(火・祝)、3月19日(水)

午前11:00～11:40／午後1:30～2:10

※午前か午後のいずれかをご指定ください。

◎対象／18歳以上 ◎定員／各回20名

②かぞくのためのアートでトーク

1月5日(日) 午後1:30～2:10

◎対象／5歳以上 ◎定員／20名

※大人のみ参加も可です。

場所／いずれもコレクション展示室(集合場所／2階ロビー)

※参加無料ですがコレクション展のチケットが必要です。

申込方法／電話でお申し込みください。Tel:055-228-3322

定員に満たない場合は当日受付可。

開催日時	申込受付開始
1月5日(日) 午後のみ	12月15日(日)～午前9:00～午後5:00
2月11日(火・祝) 午前、午後	1月19日(日)～午前9:00～午後5:00
3月19日(水) 午前、午後	2月23日(日・祝)～午前9:00～午後5:00

シルバーのための鑑賞プログラム

シルバー世代(65才以上)対象のワークショップです。当館の作品を見ながら、アートコンダクターが質問するスタイルで対話型鑑賞を進めます。作品を鑑賞する全ての方と、時空を超えた会話が弾みます。

日時／2月28日(金) 午後1:30～3:30

対象／シルバー世代(65歳以上)

※認知症の方やご家族、施設関係者もどうぞ!

定員／20名程度 場所／コレクション展示室

申込方法／電話でお申し込みください。Tel: 055-228-3322

申込期間／1月31日(金) 午前9:00～定員になり次第締め切り

※参加無料ですが、65歳未満の参加者はコレクション展のチケットが必要です。

美術体験・実技講座

オープンアトリエ③

油彩画、アクリル画、日本画などの制作の方に制作の場所を提供します。

期間／2月11日(火・祝)～26日(水)

時間／午前9:00～午後4:30

申込期間／1月21日(火)～31日(金)

対象／ご自身で制作可能な中学生～大人

注意事項／講師による指導はありません。工房の使用料は無料です。画材はご準備ください。

一度に工房を使用できる人数は20名です。

美術体験・実技講座の申込方法

●申込方法 往復はがきでお申し込みください。

往信面に①講座名②〒住所③氏名・年齢(学生の方は学校名と学年)④電話番号(ファックス番号)⑤経験の有無を、返信面には〒・住所・氏名を必ず記入してください。

●申込先 〒400-0065甲府市貢川1-4-27

山梨県立美術館「美術体験・実技講座」係

創作教室

お正月スペシャルワークショップ「ミレーを描く会」

ロビーにてミレー作品を模写します。完成品は当館で撮影、印刷して美術館に掲示します。作品本体は持ち帰ることができます。画材は美術館で用意します。

日時／1月3日(金) 午前10:00～12:00、午後1:00～3:00

場所／本館2Fミレー館前ロビー

対象／どなたでも

※申込不要 ※参加無料

ミュージアム・シアター

美術館では毎月芸術や展覧会に関する映画を上映しています。

・1月25日(土)

「フェルナンド・ボテロ 豊満な人生」(2018年、82分)

人物や動物をふくやかに描いた独特な画風で愛される、コロンビア出身の画家、フェルナンド・ボテロの制作についてのドキュメンタリー。

(音声:英語、スペイン語/字幕:日本語)

・2月22日(土)

「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」

(2022年、107分)

全盲の白鳥建二氏が初めての美術館訪問をきっかけに、「自由な会話を使ったアート鑑賞」という新たな鑑賞方法を編み出し、様々な人々と歩んだ軌跡を辿ったドキュメンタリー。

(音声:日本語/字幕:日本語/バリアフリー版)

・3月22日(土)

「ヒッチコック/トリュフォー」

(2015年、80分)

ニューヴェル・ヴァーグの旗手フランソワ・トリュフォーが映画監督アルフレッド・ヒッチコックをインタビューした記録を出発点に、ヒッチコックの映画術に迫るドキュメンタリー。

(音声:英語、フランス語他/字幕:日本語)

時 間/午後1:30～

定 員/各回先着80名、申込不要(午後1:00より会場にて整理券配布)

場 所/講堂

※鑑賞無料。プログラムは変更になる場合があります。

美術館ロビーコンサート

日 時/毎月第3日曜日 午後2:00～(約30分)

演 奏/県内音楽家の皆さんによるアンサンブル

場 所/本館1Fロビー(申込不要、入場無料)

※1月の開催はありません。その他の開催の有無、スケジュールは当館HPをご確認ください。

ニューイヤーコンサート2025

日 時/1月12日(日) 開場午後1:30 開演午後2:00(予定)

演 奏/山梨交響楽団(小編成のアンサンブル)

場 所/講堂

定 員/50名

※鑑賞無料、要事前申込

※電話にてお申込ください。Tel:055-228-3322

申込期間:12月19日(木)～ 定員になり次第締め切り

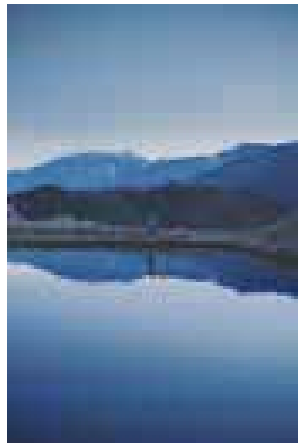
キュレーターズ・アイ

砺波周平展

会期:2025年1月2日(木)～3月2日(日)

場所:ギャラリー・エコー(美術館エントランス)

観覧無料



TONAMI SHUHEI

《透明な日常》

八ヶ岳を拠点に日々の生活を撮り続けている写真家・砺波周平をご紹介します。砺波は、自分の足元を見つめることにこだわり、家族の日常や山麓の暮らしの風景を写真におさめています。透明な空気が満ちる砺波の写真をご堪能ください。

美術館ボランティア募集

第24期ボランティア(協力員)を募集します。活動内容、応募方法等の詳細は美術館ホームページまたは美術館内のチラシ等でご確認ください。

活動期間/2025年4月～2027年3月(2年間)

募集締切/2025年2月12日(水)まで

問い合わせ先/山梨県立美術館「協力員募集担当」

電話:055-228-3322(午前9:30～午後4:00)

メール:kyoryokukai@art-museum.pref.yamanashi.jp

休館のお知らせ

年末年始の休館は2024年12月28日(土)～2025年1月1日(水・祝)となります。

年始は1月2日(木)から開館します。※1月3日(金)はミレー館で写真撮影ができます。

また館内整備のため3月3日(月)～10日(月)は休館いたします。

1 Jan → 3 Mar

※各主催者の判断等により、中止になる場合があります。ご来館前に直接主催者にお問い合わせください。

展覧会名	会期	会場	問い合わせ先
第39回 駿台甲府高等学校美術デザイン科展	12/26(金)～1/5(日)	A・B・C	
第74回 教育祭県下小中学校図工・美術作品展	1/8(金)～1/12(日)	A・B・C	055-265-2117
第68回 徹墨会展	1/13(日)～1/19(日)	A・B・C	
春陽会山梨研究会展	1/21(日)～1/26(日)	A・B	
みなび展	1/22(金)～2/2(日)	C	055-228-3322
第74回 教育祭県下小中学校書きぞめ大会展覧会	1/28(金)～2/2(日)	A	
第5回 大千富士日中青少年書画展	1/28(金)～2/2(日)	B	055-223-1435
第51回 山梨美術協会会員展	2/4(日)～2/9(日)	A・B・C	0556-22-7181
サンテクノカレッジデザイン展	2/11(日)～2/18(日)	A・B	055-279-1212
第74回 卒業制作・在学生作品展(山梨大学 教育学部)	2/11(日)～2/18(日)	C	

展覧会名	会期	会場	問い合わせ先
第43回 山梨墨画院展	2/19(金)～2/24(日)	A・B	055-253-6181
甲府事件50th企画展～山島さんとみんなのUFO写真展～	2/22(日)～2/24(日)	C	
玄遠書道師範会 会員展	2/26(金)～3/2(日)	A・B	genen@nns.ne.jp
第47回 ニッコールクラブ山梨支部 写真展	3/11(日)～3/16(日)	A	iwama-m@oregano.ocn.ne.jp
東土会 絵画展	3/11(日)～3/16(日)	B	090-2300-8810
第19回 道(TAO)展	3/11(日)～3/16(日)	C	080-1398-5071
山梨人ねっこアート展	3/18(日)～3/23(日)	A・B	artp@mac.com
リシプロカール展	3/25(日)～3/30(日)	A・B	yoshi.artic.chu@gmail.com
山梨きりえ協会展	3/25(日)～3/30(日)	C	

※公開時間や展覧会の内容については、各団体にお問い合わせください。

※県民ギャラリーABの使用申し込みは、1月4日('25年12月分)、2月1日('26年1月分)、3月1日('26年2月分)です。

午前10時までに美術館講堂にお集まりください。

※県民ギャラリーCの使用決定日は、2月1日('25年7月～9月分)です。午前10時30分までに美術館講堂にお集まりください。

県民ギャラリーCの使用希望の際は、使用決定日の2週間前(1月18日)までに施設利用計画書の提出が必要です。詳細はお問い合わせください。

展覧会カレンダー Exhibition Calendar

1月 January

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月 February

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月 March

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※内容は変更になる場合がございます。ご来館前に当館ホームページでご確認されることをお勧めします。

利用のご案内

■ 開館時間

午前9:00～午後5:00（入館は午後4:30まで）

■ 休館日

1月 1・6・14・20・27日

2月 3・10・12・17・25日

3月 3～10・17・24・31日

※12月28日～2025年1月1日は年末年始のため休館

※3月3日～10日は館内整備のため休館

■ 観覧料

※特別展は観覧料等変更になる場合があります。

		一般	大学生
バスポート（コレクション＋特別）		1,260円	590円
コレクション展	個人	520円	220円
	団体	*420円	*170円
特別展	個人	1,000円	500円
	前売・団体	*840円	*420円
美術館コレクション展 文学館常設展		680円	340円

※20名以上の団体、前売券、県内宿泊者割引に適用。

■ その他割引について

	コレクション展	特別展
高校生以下の児童・生徒	無 料	
65歳以上 （健康保険証等持参）	県内	無 料
	県外	無 料 通常料金
障害者手帳所持者とその介護者	無 料	

■ 年間パスポート（定期観覧券）

発行日から1年間、山梨県立美術館のコレクション展・特別展を何回でも観覧できる便利でお得なパスポートです。

一般：3,140円 大学生：1,570円

■ 4館共通定期観覧券

発行日から1年間、県立美術館・博物館・考古博物館・文学館の常設展（コレクション展）・企画展（特別展）を何回でも観覧できる、お得な観覧券（ミュージアム甲斐in券）です。

一般：5,240円 大学生：2,620円

サービス

【ロッカールーム】

美術館の観覧者は、無料ロッカーがご利用できます。
（使用した100円は使用後に戻ります。）

【駐車場】

乗用車345台、バス16台、
身障者専用6台の無料駐車場があります。

【ボランティア・デスク】

ボランティアによる館内のご案内、道路案内、
クロックサービスなどを行っています。

【車椅子、ベビーカー、ベビーチェア、トイレ】

車椅子4台、ベビーカー2台を用意しています。ご利用になりたい方は、
館職員までお申し出ください。オストメイト用トイレ1ヶ所、ベビー
チェア設置トイレもあります。

【ミュージアム・ショップ】

1Fミュージアム・ショップではカタログ、書籍、ポストカード、複製画など
を販売しています。クレジットカードもご利用できます。年間バスポート
と4館共通定期観覧券をお持ちの方は、1割引でご利用できます。

【ユニバーサルカフェ&レストラン コレハ】

山梨の魅力を五感で感じられるメニューをご用意しています。
おひとり様でもご家族でもお気軽にご来店ください。
営業時間 午前10:00～午後5:00（午後4:30ラストオーダー）テイクアウト可
レストラン直通 Tel:055-236-9370

交通のご案内

中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

●料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て200m先を左折、西条北交差点
を左折、アルプス通りを約2km直進、真川交番前交差点を左折、国
道52号を約1km直進、左側

JR中央本線甲府駅より

●JR甲府駅/バスターミナル（南口）1番乗り場より、39系統 御勅使（み
だいに）、03・04系統 竜王駅経由敷島営業所、35系統 大草経由韮崎
駅、30系統 真川（くがわ）団地各行ききのバスで約15分、「山梨県立美
術館」下車

※山梨県立美術館ホームページからも、バスの時刻表をご覧いた
できます。

●タクシーで約15分



種をまく 世界がひろく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

〒400-0065 甲府市真川1-4-27 Tel: 055-228-3322 Fax: 055-228-3324
https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/



ホームページ

